

「経営分析参考指標」 2018年度決算分-生活介護の概要-

＜機能性＞

区分		2017年度	2018年度	差引 (2018- 2017)
施設数	施設	2,126	2,386	260
定員数	人	35.4	35.3	△ 0.1
利用率	%	88.5	88.5	0.0
年間営業日数	日	268.2	268.0	△ 0.2
営業時間数	平日	時間	7.7	0.0
	土曜日	時間	7.4	0.0
	日曜・祝日	時間	7.8	0.1
障害支援区分	-	5.03	5.06	0.04
福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）取得率	%	69.0	75.9	6.9
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円	12,022	12,445	423
実費負担額	食費（1日当たり）	円	425	△ 4
	その他（1月当たり）	円	1,994	226
利用者1人1月当たり工賃	円	4,651	4,378	△ 273

＜従事者の状況＞

1施設当たり従事者数	生活支援員	人	14.4	14.4	△ 0.0
	理学療法士及び作業療法士	人	0.1	0.1	△ 0.0
	その他	人	5.1	5.0	△ 0.1
	計	人	19.7	19.5	△ 0.2
利用者10人当たり従事者数	生活支援員	人	4.63	4.64	0.01
	理学療法士及び作業療法士	人	0.04	0.04	△ 0.00
	その他	人	1.64	1.60	△ 0.03
	計	人	6.31	6.28	△ 0.03

＜収支の状況＞

収 支 の 状 況	収 益	経常収益	サービス活動収益	%	98.8	98.8	0.0	
		構成比	サービス活動外収益	%	1.2	1.2	△ 0.0	
		サービス活動収益	自立支援給付費収益	%	92.7	92.8	0.1	
		構成比	利用者負担金及び特定費用収益	%	3.2	3.2	△ 0.0	
		構成比	その他	%	4.1	4.0	△ 0.0	
	費 用	サービス活動収益に対するサービスの割合	人件費	%	65.9	66.0	0.1	
		活動費用の割合	経費	%	20.1	20.0	△ 0.2	
			給食費	%	3.7	3.5	△ 0.2	
			水道光熱費	%	3.2	3.2	△ 0.1	
			業務委託費	%	3.6	3.7	0.1	
			修繕費	%	1.0	1.0	△ 0.0	
			地代家賃	%	0.5	0.6	0.0	
			減価償却費	%	3.4	3.5	0.1	
		その他	%	0.2	0.1	△ 0.0		
		計	%	89.6	89.6	△ 0.0		
		サービス活動収益対サービス活動増減差額比率			%	10.4	10.4	0.0
		経常収益対経常増減差額比率			%	10.8	10.9	0.0
従事者1人当たりサービス活動収益			千円	5,200	5,402	202		
労働生産性			千円	3,977	4,137	160		
従事者1人当たり人件費			千円	3,428	3,567	139		
労働分配率			%	86.2	86.2	0.0		
経常収益対支払利息率			%	0.2	0.2	△ 0.0		

注1）従業員数は、非常勤職員及び委託職員については、「常勤換算」を行っています。

注2）減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額（マイナス値）」を加えた金額で算出しています。

注3）数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4）開設後1年未満の生活介護は含まれていません。

《経営分析参考指標》 2018年度決算分-就労移行支援の概要-

＜機能性＞

区分			2017年度	2018年度	差引（2018-2017）
施設数	施設		284	164	△ 120
定員数	人		9.9	10.7	0.8
年間営業日数	日		263.1	264.2	1.1
営業時間数	平日	時間	7.8	7.8	0.0
	土曜日	時間	6.8	6.8	△ 0.0
	日曜・祝日	時間	7.9	7.7	△ 0.2
利用率	%		70.8	76.4	5.6
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円		10,443	9,920	△ 523
福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）取得率	%		72.5	78.0	5.5
実費負担額	食費（1日当たり）	円	254	242	△ 12
	その他（1月当たり）	円	1,025	732	△ 292

＜従事者の状況＞

1施設当たり従事者数	生活支援員	人	1.0	1.1	0.1
	職業指導員	人	1.3	1.4	0.1
	就労支援員	人	1.0	1.1	0.0
	その他	人	1.7	1.5	△ 0.2
	計	人	5.0	5.0	△ 0.0
利用者10人当たり従事者数	生活支援員	人	1.45	1.32	△ 0.13
	職業指導員	人	1.80	1.70	△ 0.11
	就労支援員	人	1.46	1.31	△ 0.15
	その他	人	2.44	1.80	△ 0.64
	計	人	7.15	6.12	△ 1.03

＜収支の状況＞

収 支 の 状 況	収 益	経常収益	サービス活動収益	%	99.1	99.0	△ 0.1	
		構成比	サービス活動外収益	%	0.9	1.0	0.1	
		サービス	自立支援給付費収益	%	95.5	94.4	△ 1.1	
		活動収益	利用者負担金及び特定費用収益	%	1.7	1.8	0.1	
		構成比	その他	%	2.8	3.8	1.0	
	費 用	サービス	人件費	%	72.1	75.7	3.7	
		活動収益	経費	%	17.7	19.6	1.9	
		に対する サービス	給食費	%	2.0	2.0	0.0	
			水道光熱費	%	2.0	2.2	0.2	
			業務委託費	%	2.3	2.8	0.5	
			修繕費	%	0.6	0.7	0.1	
			地代家賃	%	2.1	2.0	△ 0.1	
			減価償却費	%	2.7	2.6	△ 0.1	
		その他	%	0.2	0.0	△ 0.2		
		計	%	92.7	97.9	5.2		
		サービス活動収益対サービス活動増減差額比率			%	7.3	2.1	△ 5.2
		経常収益対経常増減差額比率			%	7.6	2.4	△ 5.2
従事者1人当たりサービス活動収益			千円	3,861	4,312	451		
労働生産性			千円	3,075	3,356	282		
従事者1人当たり人件費			千円	2,783	3,266	483		
労働分配率			%	90.5	97.3	6.8		
経常収益対支払利息率			%	0.2	0.2	△ 0.0		

注1) 従業員数は、非常勤職員及び委託職員については、「常勤換算」を行っています。

注2) 減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額（マイナス値）」を加えた金額で算出しています。

注3) 数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4) 開設後1年未満の就労移行支援は含まれていません。

「経営分析参考指標」 2018年度決算分-就労継続支援A型の概要-

＜機能性＞

区分			2017年度	2018年度	差引（2018-2017）
施設数	施設		174	159	△ 15
定員数	人		19.5	20.0	0.4
年間営業日数	日		288.6	292.1	3.5
営業時間数	平日	時間	8.7	8.8	0.1
	土曜日	時間	8.2	8.4	0.1
	日曜・祝日	時間	8.8	8.9	0.1
利用率	%		75.0	79.1	4.1
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円		7,794	7,399	△ 394
福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）取得率	%		61.5	69.8	8.3
実費負担額	食費（1日当たり）	円	255	241	△ 15
	その他（1月当たり）	円	936	1,237	301
利用者1人1月当たり平均賃金	円		82,423	89,276	6,853

＜従事者の状況＞

1施設当たり従事者数	生活支援員	人	1.7	1.7	△ 0.0
	職業指導員	人	3.0	2.8	△ 0.1
	その他	人	2.9	2.7	△ 0.1
	計	人	7.5	7.3	△ 0.3
利用者10人当たり従事者数	生活支援員	人	1.16	1.06	△ 0.09
	職業指導員	人	2.05	1.80	△ 0.25
	その他	人	2.00	1.75	△ 0.25
	計	人	5.20	4.61	△ 0.59

＜収支の状況＞

収 支 の 状 況	収 益	経常収益	サービス活動収益	%	96.5	96.6	0.2	
		構成比	サービス活動外収益	%	3.5	3.4	△ 0.2	
		サービス	自立支援給付費収益	%	87.2	88.9	1.7	
		活動収益	利用者負担金及び特定費用収益	%	2.0	2.0	0.0	
		構成比	その他	%	10.8	9.1	△ 1.7	
	費 用	サービス	人件費	%	68.7	70.6	1.8	
		活動収益	経費	%	20.2	19.9	△ 0.4	
		に対する	給食費	%	2.5	2.5	0.0	
		サービス	水道光熱費	%	2.0	2.1	0.2	
		活動費用	業務委託費	%	2.6	2.2	△ 0.4	
		の割合	修繕費	%	0.8	0.8	0.0	
			地代家賃	%	1.7	1.5	△ 0.2	
			減価償却費	%	5.5	6.5	1.0	
			その他	%	0.8	0.1	△ 0.7	
			計	%	95.3	97.0	1.7	
		サービス活動収益対サービス活動増減差額比率			%	4.7	3.0	△ 1.7
		経常収益対経常増減差額比率			%	6.8	5.1	△ 1.8
従事者1人当たりサービス活動収益			千円	4,403	4,748	346		
労働生産性			千円	3,268	3,496	228		
従事者1人当たり人件費			千円	3,026	3,350	324		
労働分配率			%	92.6	95.8	3.2		
経常収益対支払利息率			%	0.8	0.8	△ 0.0		

注1) 従業員数は、非常勤職員及び委託職員については、「常勤換算」を行っています。

注2) 減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額（マイナス値）」を加えた金額で算出しています。

注3) 数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4) 開設後1年未満の就労継続支援A型は含まれていません。

「経営分析参考指標」 2018年度決算分-就労継続支援B型の概要-

＜機能性＞

区分			2017年度	2018年度	差引 (2018-2017)
施設数	施設		1,828	1,690	△ 138
定員数	人		23.4	23.9	0.5
年間営業日数	日		264.6	264.8	0.2
営業時間数	平日	時間	7.8	7.9	0.1
	土曜日	時間	7.2	7.3	0.1
	日曜・祝日	時間	7.8	8.0	0.2
利用率	%		83.0	88.1	5.1
利用者1人1日当たりサービス活動収益	円		8,158	7,607	△ 551
福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）取得率	%		63.2	70.3	7.1
実費負担額	食費（1日当たり）	円	287	270	△ 17
	その他（1月当たり）	円	1,369	1,266	△ 102
利用者1人1月当たり平均工賃	円		16,545	16,852	306

＜従事者の状況＞

1施設当たり従事者数	生活支援員	人	2.4	2.3	△ 0.1
	職業指導員	人	2.6	2.6	△ 0.0
	その他	人	2.8	2.6	△ 0.2
	計	人	7.8	7.5	△ 0.3
利用者10人当たり従事者数	生活支援員	人	1.22	1.08	△ 0.14
	職業指導員	人	1.36	1.25	△ 0.11
	その他	人	1.43	1.24	△ 0.19
	計	人	4.01	3.57	△ 0.44

＜収支の状況＞

収 支 の 状 況	収 益	経常収益	サービス活動収益	%	98.8	98.8	△ 0.0	
		構成比	サービス活動外収益	%	1.2	1.2	0.0	
		サービス活動収益	自立支援給付費収益	%	94.0	94.2	0.2	
		構成比	利用者負担金及び特定費用収益	%	2.7	2.7	△ 0.0	
		構成比	その他	%	3.3	3.1	△ 0.2	
	費 用	サービス活動収益に対するサービスの活動費用の割合	人件費	%	66.5	68.4	1.9	
		経費		%	20.3	20.4	0.0	
			給食費	%	3.2	3.1	△ 0.1	
			水道光熱費	%	2.5	2.6	0.0	
			業務委託費	%	2.7	2.8	0.0	
			修繕費	%	0.9	0.9	0.0	
			地代家賃	%	1.3	1.3	△ 0.0	
		減価償却費	%	3.8	4.0	0.2		
		その他	%	0.2	0.2	△ 0.0		
	計	%	90.8	93.0	2.1			
	サービス活動収益対サービス活動増減差額比率				%	9.2	7.0	△ 2.1
	経常収益対経常増減差額比率				%	9.5	7.5	△ 2.0
従事者1人当たりサービス活動収益				千円	5,416	5,666	250	
労働生産性				千円	4,107	4,284	177	
従事者1人当たり人件費				千円	3,601	3,876	275	
労働分配率				%	87.7	90.5	2.8	
経常収益対支払利息率				%	0.2	0.2	△ 0.0	

注1) 従業員数は、非常勤職員及び委託職員については、「常勤換算」を行っています。

注2) 減価償却費はサービス活動費用の「国庫補助金等特別積立金取崩額（マイナス値）」を加えた金額で算出しています。

注3) 数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

注4) 開設後1年未満の就労継続支援B型は含まれていません。

経営指標一覧（障害福祉サービス《日中活動系サービス》）

経営指標		算式	説明
機能性	1 利用率	年間延べ利用者数 ÷年間延べ定員数	事業の定員数に対して、どの程度のサービス利用が行われたかを示す指標です。 本指標の値が高いほど施設が有効に活用されていることとなり、収益増加に寄与することになります。
	2 障害支援区分	※1	利用者の障害支援区分の平均から、障害福祉サービス報酬単価の多寡を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど障害福祉サービス報酬単価が上がるため、収支増加に寄与することになります。
	3 利用者1人1日当たりサービス活動収益	サービス活動収益 ÷年間延べ利用者数	サービス活動収益を年間延べ利用者数で割り戻した収益であり、事業全体の収益性を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど収益増加に寄与することになります。
	4 利用者10人当たり従事者数	年間従事者数 ÷年間延べ利用者数 ×10	利用者10人に対して配置される職員数からその多寡を判断する指標です。 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
費用の適正性	5 人件費率	人件費 ÷サービス活動収益	サービス活動収益に対する人件費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	6 経費率	経費※2 ÷サービス活動収益	サービス活動収益に対する経費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	7 減価償却費率	(減価償却費＋国庫補助金等特別積立金取崩額[マイナス値]) ÷サービス活動収益	サービス活動収益に対する減価償却費の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	8 従事者1人当たり人件費	人件費 ÷年間平均従事者数	従事者1人にかかる平均人件費から給与水準を示す指標です。 本指標の値が小さいほど費用削減に寄与することになります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
	9 経常収益対支払利息率	支払利息 ÷経常収益	経常収益に対する支払利息の占める割合を示す指標です。 本指標の値が低いほど収益に対する費用の負担は軽くなります。

経営指標一覧（障害福祉サービス《日中活動系サービス》）

経営指標		算式	説明
生産性	10 従事者1人当たりサービス活動収益	サービス活動収益 ÷年間平均従事者数	従事者1人当たりどの程度のサービス活動収益を得ているかによって効率を判断する指標です。 本指標の値が大きいほど職員の収益獲得力が高いことから収益増加あるいは費用削減に寄与することになります。
	11 労働生産性	付加価値額×3 ÷年間平均従事者数	従事者1人がどれだけの付加価値を生み出したかを示す指標です。 本指標の値が高いほど、各々の従事者が効率よく価値を生み出し、円滑な運営管理が行われているといえます。
	12 労働分配率	人件費 ÷付加価値額×3	付加価値が人件費にどれだけ分配されているかを判断する指標です。 本指標の値が低いほど増減差額の割合は高まります。 ただし、良質なサービスを提供する上では適切な値に留めることも重要です。
収益性	13 サービス活動収益対サービス活動増減差額比率	サービス活動増減差額 ÷サービス活動収益	本業であるサービス活動収益そのものから得られた増減差額を示す指標です。 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。
	14 経常収益対経常増減差額比率	経常増減差額 ÷経常収益	本業であるサービス活動収益に受取利息等を加えた、施設に通常発生している収益から得られた増減差額を示す指標です。 本指標の値が高いほど収益性が高い事業といえます。

※1「障害支援区分」は次の式で算定しています。

$$\text{障害支援区分} = \{(\text{区分1の人数} \times 1) + (\text{区分2の人数} \times 2) + (\text{区分3の人数} \times 3) + (\text{区分4の人数} \times 4) + (\text{区分5の人数} \times 5) + (\text{区分6の人数} \times 6)\} \div \text{年間延べ利用者数}$$

※2「経費」は次の式で算定しています。

$$\text{経費} = \text{事業費} + \text{事務費}$$

※3「付加価値額」は次の式で算定しています。

$$\text{付加価値額} = \text{サービス活動収益} - (\text{事業費} + \text{事務費} + \text{減価償却費} + \text{国庫補助金等特別積立金取崩額} [\text{マイナス値}] + \text{徴収不能額})$$